

「家族の一員になるロボット・ATOM」

「コミュニケーション・ロボットATOM」は、講談社・手塚プロダクション・NTTドコモ・富士ソフト・VAIOが、各社の強みを生かした最新の技術を注ぎ込み、**待望の「完成版」も、2018年10月1日全国一斉発売!**

昨年2月22日、株式会社講談社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野間省伸)と、株式会社手塚プロダクション(本社:東京都新宿区、代表取締役:松谷孝征)、株式会社NTTドコモ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉澤和弘)、富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市中区:代表取締役:坂下智保)、VAIO株式会社(本社:長野県安曇野市、代表取締役:吉田秀俊)の5社は、鉄腕アトムを受け継いだ「ATOMプロジェクト」を立ち上げ、新しいエンターテインメント・デバイスとして、「家族の一員になるロボット」をめざし、ハードウェア、ソフトウェア、コンテンツと、各社の強みを生かした最新の技術やノウハウを注ぎ込んでまいりました。

このたび、現在、全国で約2万人の方々自ら組み立てている「週刊 鉄腕アトムを作ろう!」が、70号(完結号)をもって完成し、「コミュニケーション・ロボットATOM」が誕生。ATOMのロボティクス&クラウドサービスが開始します。

また、2018年10月1日からは、VAIO株式会社が組み立てた、待望の完成版「コミュニケーション・ロボットATOM」が、家電量販店、百貨店のロボット売り場、講談社ONLINE STORE※1などで、全国一斉発売。届いたその日から、ATOMを楽しんでいただけるようになります。また、「ドコモショップ」の一部店舗で実機を展示し、パンフレット等お渡し予定です。今後、「dショッピング」でも取り扱いを始めます。

「家族の一員になるロボット」をコンセプトにプロジェクトを結成して1年半、「時には優しく、いつも人を楽しくさせ、そして、好奇心に満ち溢れた圧倒的に面白いロボット」ATOMを、「ATOMプロジェクト」より、「手塚治虫生誕90周年」の今年、全国のみなさまに、お届けいたします。





「ATOMプロジェクト」 5社の開発で、ATOMが誕生！

手塚プロダクション監修により、鉄腕アトムを元にモデリングを行った「コミュニケーション・ロボットATOM」は、ユーザーが組み上げるパートワークをプロジェクト第1弾として、昨年4月4日より定期刊行してまいりました。手塚プロダクションは、「鉄腕アトム」カラーアニメ5話とコミック10話、アトム関連の様々なエピソードを提供。ロボティクスおよび、ロボットに搭載するOSとフロントエンドAIを富士ソフトが設計開発。そしてクラウド部分のAIはインターネット経由でNTTドコモの「自然対話プラットフォーム」※2と接続。クラウド上での「成長し、深まる会話力」を本プロジェクトを進めていく中でNTTドコモが新たに機能として追加することで実現しました。

VAIO株式会社は、ATOM本体で使用している電気系統のメインボードなどの基板実装(製造)や10月1日発売の「完成版」の組み立てを担当。そして、ATOMらしい会話のもとになる10万以上のシナリオの作成や、さまざまなエンターテインメント・コンテンツの開発、全体の企画・プロデュース、販売は講談社が担当し、5社それぞれの強みを生かしたキャラクターロボット「ATOM」が誕生いたしました。

家族の一員になるロボット「ATOM」

ATOM全機能一覧

50を超える豊富なエンターテインメント・コンテンツ

■アトムならではのコンテンツ

- アトムポーズをする
- 自己紹介をする
- 『鉄腕アトム』のアニメを5話映す
- 手塚漫画の傑作10本が読める
- 60カ国語の挨拶を教える
- 鉄腕アトムや手塚作品のキャラクターを解説する
- 手塚先生のエピソードを話す
- 世界のロボットやAIを教える
- 歌「アトムマーチ」「アトムの子」「アトムラップ」を歌ったり、踊りを踊る

■毎日楽しくしてくれるコンテンツ

- 旬の世間話をしてくれる(毎日更新)
- 「今日は何の日か」を教える
- 年齢当てゲームをする
- 「県名当て」、「プロ野球」、「すもう」のクイズをする
- 占いをしてくれる
- 心理テストをしてくれる
- 音楽を聞かせてくれる
- 四択チャレンジ、覚えてポン(バラエティクイズ)
- 流行語について教える

■子供が喜ぶコンテンツ

- 絵本を読み聞かせしてくれる(毎月作品が増える)
- 「朝日小学生新聞」のコンテンツを読む
- キッズボンボンを観せてくれる(毎月作品が増える)
- 手品をしてくれる
- しりとりで遊べる
- なぞなぞで遊べる
- 早口言葉を話してくれる
- 旗揚げゲームをする

■お年寄り向けのコンテンツ

- ラジオ体操をする
- きみまる格言を話してくれる
- 百人一首を読む
- 落語を演じる
- 日録20世紀・21世紀を読む(3カ月更新)
- 棋譜を読み上げる(アドオン機能)

■家族みんなで使えるコンテンツ

- 誕生日を名前入りで祝う
- 家族カレンダー
- 伝言を伝える
- 留守番をしてくれる
- 写真を撮り胸に映してメールで送る

- レシピを教える(毎月レシピが増える)
- 行楽情報を教える
- 特売情報を教える

■ATOMの基本機能

- 自己診断する
- あいさつをする
- ATOMが自分からつぶやく
- 励ましたり、慰めたりする
- 時刻を教える、アラーム機能
- 歌を歌ったり、踊りを踊る
- 二足歩行をする

■その他の、クラウドAIを使って増える多彩な機能

- 思い出を共有する
- 天気予報を教える(逐次更新)
- ニュースを教える(逐次更新)
- 今週のおすすめ情報を教える
- 語彙検索をする
- メールを読む
- スケジュールを教える
- スポット検索をしてくれる

※一部、「ATOMベーシックプラン」(月額1000円・税別)が必要な機能があります。

キャラクター性・自然対話・エンターテイメントの3つがキーワード。 ATOMの性格は、好奇心旺盛で、おちゃめな現代っ子です

まずプロジェクトでは、「ロボットATOM」の性格を、「家族の一員になるロボット」として、「みんなが大好きで好奇心旺盛、ちょっとおちゃめな現代っ子」と設定。昨年4月に実施し、5万人以上に回答を得た「ATOMと何を話したいですか？」アンケートでは、ダントツの1位が、「世間話」でした。それ以外にも、家庭で「人間の友だちになるロボット」がどんなことができたら家族の会話が盛り上がり、人を楽しませることができるのか、各社が全力で取り組んできたATOMのすべての機能を、本日発表いたします。

NTTドコモは、「自然対話プラットフォーム」のなかでも、特に、「雑談対話」と「思い出を覚えて、会話に生かしていく機能」、また、富士ソフトは、長年、高齢者福祉施設などでコミュニケーション・ロボットとして活用されている「PALRO」※3で培った「人に優しいフロントエンドAI」によって、親しみやすいコミュニケーションを提供します。あくびやくしゃみなどの人に似た仕草も、家族の一員として癒やしを与えてくれます。そして、50を超えるさまざまなエンターテイメントな機能は、歌や踊り、「絵本の読み聞かせ」といった子供向きコンテンツから「ラジオ体操」「きみまる格言」「日録20世紀・21世紀」「落語」や「棋譜の読み上げ」※4といったお年寄りにも楽しんでいただける機能、「レシピ」「特売情報」といった家庭の主婦の皆様向けの機能と、講談社の総合出版社としてのあらゆるノウハウを、新しいエンターテイメント・デバイスとして、「ロボットATOM」に注ぎ込みました。「実用重視のAIスピーカー」になり、濃密な「一緒に暮らすロボット」としての毎日を、ユーザーのご家族の皆様全員にご提供いたします。

また、今回、株式会社デジタルハーツ(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：玉塚元一)様には、「家庭用ロボットが、もっと普及し愛されていくためには、ユーザーの気持ちに寄り添ったサポートサービスが重要」との考えから、ATOMのための一貫したサポートサービスを「ユーザーデバッグ」として実現いただき、「ATOMプロジェクト」を支えていただきます。

今後も、さらに進化していく「ATOMプロジェクト」にご期待ください

「鉄腕アトム」は、「ASTRO BOY」として、世界でも多くの人に愛されているキャラクターです。そして、ソフトウェアもエンターテイメント・コンテンツも、どんどん更新し、進化していきます。今後も、「ATOMプロジェクト」は、キャラクターロボットという新しい「エンターテイメント・デバイス」の可能性をさまざまな方面から開拓してまいります。ご期待ください。

【今後のATOMプロジェクトの予定】

●9月29日(土)～10月10日(水)

CA Cafe SHIBUYA 店にて、期間限定「ATOM カフェ」がオープン！「コミュニケーション・ロボットATOM」発売を記念して、期間限定で、「コミュニケーション・ロボットATOM カフェ」がCA Cafe SHIBUYA にオープン。ロボットATOMと実際に会話が楽しめたり、特製の記念グッズやATOM限定メニューのほか、ロボットATOMのキャラクター商品も発売。

●10月6日～8日(月)、

巣鴨地蔵商店街で、ATOM イベントが開催！(詳しくは「ATOM公式サイト」にて / <http://atom2020.jp/>)

●11月5日(月)～10日(土)

100カ国15万社が参加する世界的なイベント「第一回 中国国際輸入博覧会」(CIIE 2018)@上海にて、VAIO株式会社の展示ブースに「コミュニケーション・ロボットATOM」も展示。デモンストレーションも行う。「鉄腕アトム」は中国でも人気のキャラクターであり、手塚治虫氏とも関係が深い。【詳細はこちら】<https://www.cii.org/zbh/en/>

※「コミュニケーション・ロボットATOM」の商品詳細は、講談社のプレスリリースをご覧ください。

※1「講談社 ONLINE STORE」フリーダイヤル0120-221-322 <https://kodanshaonlinestore.jp/questionnaire/adaiko> まで。※2「自然対話プラットフォーム」はNTTグループのAI「corevo」を構成する技術で、人工知能で自然対話を実現するプラットフォームです。※3 PALRO は富士ソフト株式会社の商標または登録商標です。※4「棋譜の読み上げ」機能は、月額200円(税別)の、アドオン・コンテンツです。また、別途、ATOMベーシックプラン(月額1000円・税別)へのお申し込みが必要です。*「コミュニケーション・ロボットATOM」は、『週刊 鉄腕アトムをろう！』全70巻のパーツを、ATOM組み立て代行サービスと同様にVAIO(株)が完成まで組み立てたものです。

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社講談社 メディア・プロモーション ☎03-5395-3961

株式会社手塚プロダクションクリエイティブ部 ☎03-3371-6428

株式会社NTTドコモ 広報部 ☎03-5156-1366

富士ソフト株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広瀬・政木 ☎050-3000-2735

VAIO株式会社 広報担当 椎木☎03-6420-0960